



目には見えない、でもそこにある

大塚 菜央

始めまして。9月に入社しました大塚菜央と申します。以前とはある街の市役所市民課で住民票や戸籍など、みなさんの個人情報がいっぱい詰まった書類を作っていました。大阪に住むのは初めてです。これ

を書いているのは引越してから一週間ばかりの時期ですが、既にこの町の熱気に圧倒されています。あなたが読んでいるころにはもう少し慣れて、関西弁も話せるようになればと思っています。

今日は前の職場で取り扱っていた「戸籍」についてお話しします。戸籍とは簡単に言えば人生の記録です。いつどこで生まれたのか、両親は誰なのか、誰と結婚したのか、いつ死んだのか、全てが記録されています。生徒のみなさん

は馴染みがないでしょうが、おそらくご家族は知っているはずです。なぜなら大人は生きていく中でイベントが起きたら役所に報告しているからです。子供が生まれた時は、戸籍に登録するために出生届を出しています。生まれたときだけでなく結婚や死亡も役所に報告します。それを全て戸籍に反映するので人生の流れが分かるのです。お家に帰ったらぜひ聞いてみてください。

さて、戸籍を見れば人の一生が短時間で要約できてしまいます。私は分かった気になっていました。しかし、戸籍には好きな色や、初めて覚えた言葉、親友の名前、そして何より「夢」が載りません。そしてそれはもっと大事なことで、人生の終わりに思い出すことなのではないでしょうか。今度は開智総合学院の先生として戸籍では見えない人生に触れ、お手伝いさせていただきたいです。

学校の勉強もまた、目に見えないものが大切です。テストが返ってくるとまず目につくのは点数と、そして受験を控えている場合は合格判定かと思います。私も高校時代

はそれで一喜一憂していました。特に英語はクラスの中では得意な方と自負していたので全国模試での順位に愕然したこともありました。そんな時は好きな海外ドラマや洋楽に触れ、「なぜ英語が好きなのか、なぜ英語が勉強したいのか」を思い出すことでモチベーションを高めていました。楽しみながら勉強した結果、志望校に合格し、大学時代には憧れだった海外留学を実現することができました。みなさんも日々の勉強にプレッシャーを感じたら、テストでは見えない大事なものの、例えば努力した時間、犠牲にしたゲーム、将来の夢などについて考えて一息ついてみてください。もし難しいなら私がそばについて一緒に休憩するのでまた走り出しましょう。みなさんが勉強する本来の目的に進めるよう、精一杯努力させていただきます。

ちなみに、戸籍は一応先祖を辿ることができます。家系図作りに興味があればお手伝いさせていただきます。

日進月歩 Quiet changes steady growth

ILUSTRE, AIRA



Hello everyone, nice to meet you. My name is Aira. I majored in psychology at university, and after graduating, I developed a deep

interest in working with children. Seeing their smiles always made me wonder, "What can I do to make them smile even more?" That question eventually led me to pursue a career as a teacher. Six years ago, I first came to Japan as a volunteer. During that time, I began teaching English, and about a year later, I officially started my professional career in the same field. Every time I hear the children laugh, see their smiling faces, or hear them say "I did it!", I feel a strong sense of joy and fulfillment in my

work. As a teacher, the most rewarding moments are when I see the children smile after accomplishing something. Whether it's saying their first English phrase, singing an English song, or offering help to someone on their own—it may seem like a small event, but to them, it's a big step forward. And being there to witness those moments is the greatest joy for me. I've seen shy children begin to speak English joyfully through games, and eventually talk about their favorite things in English. Every time I see this transformation, I'm reminded of the importance of time, encouragement, and building trust. Watching children grow in confidence and express themselves in a new language is always moving, no matter how many times I see it. Being a part of their little world is truly special to me. Meeting new children and thinking about how

to nurture each of their unique personalities is also something I treasure. As a teacher, being able to witness their development—not only academically, but also emotionally and socially—is a great privilege and joy. Outside the classroom, I enjoy spending time in cafés, exploring Japan's beautiful natural scenery, and riding unique trains. I'm especially drawn to the peaceful countryside, majestic mountains, and the creative designs of various trains. One of my hobbies is visiting cafés around Japan—from minimalist, stylish spaces to hidden gems tucked away in quiet neighborhoods, each café has its own charm and offers a new discovery. I hope to continue growing alongside the children while cherishing my life here in Japan as both a person and a teacher. Thank you very much for reading, and I look forward to the days ahead.

イベントでは、カフェでコーヒーを楽しんだり、日本の美しい自然をめぐったり、個性豊かな列車に乗ったりと、日々の暮らしも満喫しています。特に静かな田舎の風景や雄大な山々、ユニークな列車のデザインなどに魅了されています。また、日本各地のカフェ巡りも趣味のひとつです。ミニマルなインテリアのカフェから、住宅街の中にひっそりと佇む隠れ家的なカフェまで、それぞれに異なる魅力があり、訪れるたびに新しい発見があります。これからも、日本での生活を大切にしながら、教師として子供達と一緒に学び、成長していけたらと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

さな出来事の中でも、子供達にとっては大きな成長の一步です。そうした瞬間に立ち会えることが、私にとって何よりの喜びです。内気だった生徒が、ゲームを通して楽しみながら英語を話せるようになり、自分の好きなことについて英語で話す姿を見るたびに、「時間」「励まし」「信頼関係」の大切さを改めて実感します。子供達が自信を持って新しい言葉を話せるようになるまでの過程は、何度経験しても感動的です。子供達の小さな世界の一部になれること、それは私にとってとても特別なことです。また、新しく出会う子供達一人ひとりの個性を知り、その可能性をどう引き出していかを考える時間も、私にとって大切な瞬間です。教師として、子供達が学力だけでなく、心や社会性の面でも成長していく姿を見守ることができるのは、大きな喜びであり、まさに特権だと感じています。プ

カイチからのお知らせ

- 夏期講習最終日に受験した模擬試験結果の返却は9月下旬～10月上旬を予定しております。
- 文理学科対策講座・受験対策講座(中3)の第1タームを9月6日(土)、9月13日(土)、20日(土)、10月4日(土)で実施します。
- 中間模擬テストを9月中旬に実施します。詳しい日程は授業内でお知らせします。
- 小学部診断テストを9月24日(水)・25日(木)に実施します。
- 9月24日(水)は珠算・バスカルキッズ・トーキングキッズは休講です。
- 10月2日(木)は開智総合学院とカイコベ(カイチ予備校・エニグマ・かいち学童は除く)は休講です。

生徒と保護者と先生の共有ニュースレター



【本 部】
城東区今福西2ー1ー8モデラートWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】
城東区今福西 2-9-20
TEL.06-6934-4662
【諸口教室】
鶴見区諸口 4-14-9-1F
TEL.06-6912-3984
【今津教室】
鶴見区今津南 1-6-2-1F
TEL.06-6167-9722
【高殿教室】
城東区成育 5-22-10-2F
TEL.06-6786-1008
【エニグマ】
中央区谷町 9-4-5-3F
TEL.06-6777-1563
【カイコベ】
城東区今福西 3-4-9
TEL.06-6180-6565

【今福第2教室】
城東区今福西 2-16-8
TEL.06-6931-2000
【関目教室】
城東区関目 4-6-17-2F・3F
TEL.06-6934-8117
【古市教室】
城東区古市 3-21-8
TEL.06-6931-0467
【カイチ予備校】
城東区今福西 1-10-17
TEL.06-6935-2220
【万緑会】
天王寺区上本町 6-9-10-3F
TEL.06-6772-5011



高木 秀章(塾長)

模試過去問の活用が2学期成績アップのカギ

	学校テスト	模擬テスト	英検
9月	実力テスト (上旬) 中間テスト (下旬)	第4回五ツ木模試	
10月	実力テスト (上旬)	第5回五ツ木模試	第2回英検一次試験
11月	実力テスト (上旬) 期末テスト (下旬)	第5回進研V模試 第6回五ツ木模試	第2回英検二次試験
12月		私立決定 五ツ木模試 (特別会)	
1月	実力テスト (上旬) 学年末テスト	第6回進研模試	第3回英検一次試験
2月		私立入試 (2/10)	第3回英検二次試験
3月		公立決定 公立入試 (3/11)	

夏期講習を終え、いよいよ2学期がスタートしました。受験生の皆さんにとって、この2学期はまさに「志望校を決める季節」です。10月・11月には実力テストがあり、その結果をもとに中学校では私立高校との個別相談が行われます。進研模試や五ツ木模試もこの時期に実施され、塾では偏差値を参考に受験可能校を判断します。

また、2学期の定期テストの結果によって、内申点もほぼ確定します。12月には学校と塾で三者懇談会が行われ、私立高校の受験校が決定し、公立高校の受験校もおおよそ固まっていきます。

つまり、実際の入試は私立が2月、公立が3月ですが、「その学校を受験できるかどうか」は、この2学期のテスト結果にかかっているのです。特に10月から12月にかけての実力テスト、模試、定期テストは、どれも落とせない重要なものばかりです。

さて、そんな大切な時期に、どうやって勉強すればよいのでしょうか。

カイチ生の皆さんは、夏期講習で中1・中2の基礎をしっかりと学びました。先生達も「やり切りプリント」を全力で追いかけてきました。ですが、今の段階では、受験や模試で出題される複合問題や応用問題にはまだ十分に対応できません。なぜなら、夏期講習までに取り組んできたのは、単元ごとの学習が中心だったからです。また、制限時間内に得点できる答案作りの練習も、これから本格的に始まります。

では、実力テストや模試、そして入試に対応するためには、どんな勉強が必要なのでしょうか。

この時期にぜひ取り組んでほしいのが、「**模試の過去問題の活用**」です。模試は、高校受験に精通した専門家が、中学3年間の学習定着度を測るために作った良問ばかりです。わずか50分の試験で、3年間の理解度を効率よく確認できるのです。

中でもおすすめなのが「五ツ木模試」です。良問が揃っているだけでなく、市販の過去問題集では偏差値も算出できるようになっています。カイチでは塾のカリキュラム内で演習時間をしっかり確保しています。

そして何より大切なのが、「間違え直し」です。解いた後は、必ず徹底的に間違え直しをしてください。次に同じ問題が出たら、確実に正解できるレベルまで仕上げるのが目標です。

間違え直しの方法は、教科によって異なります。数学や理科の物理・化学分野、

国語や英語の長文読解など、論理的理解が必要な分野では、解説を丁寧に読み、分からなければ先生に質問しましょう。授業後、早く帰りたい気持ちもあるかもしれませんが、**ここでしがみついて聞かず、成績の伸びは大きく変わります**。習いっばなしで終わらず、解き直したり、ノートにまとめて整理しておくことも大切です。教科によっては、間違え直しノートの作成を指示されることもあると思いますが、そこに解き方を整理することで、理解が格段に深まります。

一方、社会や理科の生物・地学分野、英文法や熟語などの暗記分野では、答えを見て「ああ、そうか」で終わらせてはいけません。**塾のウインパスや教科書に戻って該当箇所を調べ直し、単元内容をもう一度読み直しておきましょう**。その中で記憶が曖昧な箇所が必ず出てくるので、そこを間違え直しノートに整理します。こうして間違えた箇所だけでなく、その周辺の知識も整理することで、暗記の精度がぐっと高まります。

模試の問題は中1～中3までの内容で構成されています。**1つの過去問題を丁寧に間違え直しすることで、効率的に3年間の復習ができたことになります**。そして、また別の年度の模試に取り組み、偏差値を確認し、間違え直しをする。こうして何度も何度も総復習を重ねていくことで、偏差値は確実に伸びていきます。

ただし、学力がついていても偏差値が伸びないケースもあります。その原因は、時間配分ミスとケアレスミスです。

これらを防ぐためには、**時間を計ってテストを受ける練習が必要**です。いきなり問題を解き始めるのではなく、まず全体をざっと見て時間配分を決めましょう。見直し時間として3～5分を確保しておくことも忘れずに。問題を解く際には、できない問題は飛ばす勇気も必要です。入試で大切なのは100点を取るのではなく、合格点を取ることに。難問にこだわって時間を使うより、取れる問題に時間を使うことが大切です。後で見直したい問題には印をつけておくと、見直しの口スを防げます。

ケアレスミスの対策としては、**問題文を読むときに大切な箇所に線を引くことが効果的**です。線を引くか引かないかで、理解の仕方や注意力に大きな差が出ます。制限時間のあるテストでは、焦って最後まで読まずに解いてしまうこともあります。そんな時こそ、線引きが有効です。

この時期は、模試過去問の演習と間違え直しによって偏差値が飛躍的に伸びるチャンスです。学力は間違え直しで確実に伸びますが、偏差値アップには、限られた時間内で実力を発揮できる答案作りも欠かせません。

ここからが受験の正念場です。成績が思うように伸びない時、不安や焦りを感じることもあるでしょう。でも、そんな時こそ、今日お伝えした学習法を信じて、コツコツ努力を重ねてください。

「本当に合格できるのかな…」と不安な気持ちも、きっと将来の素敵な思い出のページになります。自分と真摯に向き合う人には、必ずそれ相応の結果がついてきます。

今ここを、みんなと一緒に頑張っていきましょう。

Focus



CLASSROOM REPORT 教室レポート

猛暑の夏、夏期講習の夏

岡本 泰行(今津教室)

今年の夏は連日猛暑が続き、外に出るのがためられるような毎日でした。

そんな中、今年も元気に夏期講習に参加してくれました！



まずは朝、元気よく小学生の子達が塾にやってきます。私が小学生のころは、虫取りをしていたのですが、朝から勉強。。当時の私からすると考えられないですね……。小学生の子達が行う夏期講習のワークには復習内容が盛りたくさん。今までわかっていたつもりでも忘れていたことなどもあったかと思います。人間は必ず忘れます。忘れたらもう一度覚えなおす。こういったシンプルなことを続けているといつの間にか記憶として定着します。毎年感じるのですが、小学生のパワーの凄さ、朝眠たいな～と先生達が思っているも小学生の元気な姿でこちら元気にになります。

小学生が帰るとすぐに中学3年生の授業が始まります。また、個別指導の子達もどんどん来ます。中学3年生は受験に向けて大事な一か月になりました。お昼から約3時間半の授業を受けた後、5時から6時前までほとんどの子が帰らず自習をしています。また、家に晩御飯を食

べに帰り、7時過ぎからまた自習に来る子達も多数。。。中学3年生は各教科、「やり切り課題」というものがあり、それが合格するまでよくやっております。廊下に紙が貼られてOK印をもらうまで何回も挑戦。また個別指導の子達は中1からの復習を各々のペースでどんどん進めています。自習にくる子もたくさんいて少しずつ受験生の顔つきになってきているなと感じました。今年も2泊3日の合宿が行われ、(希望者のみ参加)合宿後に「しんどかった」とマイナスの言葉が聞かれるかと思いましたが、「頑張ってきたで!」や「自習に行ったで!」(朝6時から自習室を開放していました)など各自が経験してきた3日間を楽しそうに語っていました。

中学3年生の授業が終わるとそろばんや、パスカルキッズ、トーキングキッズの時間です。この子達は暑さに負けず元気いっぱいです。そろばんを見ていると夏の間に級が上がった子や、大きく得点が伸びた子など多数!また、パスカルキッズでは、パズルに熱中する年中さんやトーキングキッズでは毎年恒例の英語で理科実験が行われました。私も「子供のころにこんなことしたかったな。。」と思ってしまいました。



▲今年の理科実験は・・・なんだコレ???

夜は中学1・2年生。個別指導の子達がやってきます。キッズコースが終わって「ほっ」と一息いたら授業が始まります。子供達も部活が終わってから夜の授業に参加しているので、子供達も疲れているは

ます。

あとは各学年とも模試の成績が気になると思います。大切なのは目標を設定し、その目標に向かっていかに努力をしたかです。目標を設定すると目標までの距離が見えてしまいます。目標まで遠い、近いなど人それぞれです。その現実を理解し、いかに努力を重ねたかどうかで距離が縮まります。毎日少しずつでもコツコツする。集中して取り組む。こういったことはなかなかできることはありません。この夏自分の様子を振り返ってみて、出来ていたら自分を褒めてあげましょう!

学校行事がたくさんある2学期が始まりました。季節の変わり目で体調を崩しやすいですが、早寝早起きを心掛け元気に過ごしましょう!



▲やはり夏の最後はこれ!ビンゴ大会!

Education



KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

志望校への挑戦2025年夏期合宿

高木 直也(諸口教室)

昨年、初めて開催した合宿。好評につき今年も実施することができました。

今年の合宿はまず、会場選びから。もちろん第一候補は昨年お世話になった「ホテルフクラシア大阪ベイ」しかし、本年は近くで大阪・関西万博が開催している関係上、利用することは難しいのではとのことでした。ところが、年度早々、フクラシアのほうから合宿のための客席確保のご連絡をいただき、今年もフクラシアで合宿を行うことができました。冬期合宿もフクラシアでの合宿が決定しています(12/28～30)

昨年は夏68名、冬80名の参加。今年はちゃんと生徒が集まるのがやや不安でした。そこで募集開始を昨年より少し早めて募集しましたところ、募集定員(80名)がわずか5日で満席に。慌ててフクラシアに再交渉し、最終的には102名の参加となりました。

さて合宿内容は、昨年同様、午前 テスト 午後 特訓授業 晩 演習特訓 の三本立て。自習スペースは朝6時から夜は23時まで徹底して3日間勉強に集中できる環境にこだわりました。各テストの上位3名はメダルを授与。夜の演習特訓時に結果を発表し、表彰しました。

合宿を行い毎回感じることは、同じカイチでもやはり各教室ごとにカラーが違うことです。普段の先生の生徒への接し方が、生徒の先生への接し方や授業の受け方に違いを生みます。合宿に参加する先生達は、普段の生徒とは違う空気をもった生徒達を今までにない生徒数で相手にしなければいけません。また生徒達も普段とは違う生徒達と一緒に勉強をし、いつもと違う場所でテストを受けることとなり、これらはとても良い経験となりました。

今回3回目の合宿ですが、やはり生徒に違いが現れるのは2日目の晩。「やらされている」から「自分からする」に生徒の姿勢が変わっていることに気づく瞬間が生徒を見る立場からすると毎度ながらに痺れます。また、普段は見れない生徒の表情

8/10(日)

8:15	教室集合 ※	18:25～19:10	夕食
8:30～	教室出発(バス) ※	19:10～20:00	入浴
9:50	ホテルフクラシア大阪ベイ到着	20:00～22:30	演習特訓・表彰
10:00～	諸注意	23:00	自習室閉鎖
10:30～12:00	合宿模試① 国語・数学	22:30～23:00	消灯準備
12:00～13:00	昼食	23:00	消灯
13:00～15:10	合宿模試① 英語 理科 社会		
15:10～15:30	休憩		
15:30～16:00	解説授業 国語		
16:05～16:35	解説授業 数学		
16:40～17:10	解説授業 英語		
17:15～17:45	解説授業 理科		
17:50～18:20	解説授業 社会		

を垣間見ることができるのも合宿の魅力です。普段はすました感じで授業を受けて、スツと帰る子も合宿では、上位を狙って一人で黙々と23時まで勉強していたりなど、**生徒一人一人が「力を開放する姿」や、「生徒が自分の限界を突破する瞬間」**に立ち会えることも合宿の魅力であります。

昨年の反省を生かし、教材も昨年から大きくグレードアップしました。特に昨年度体調不良で参加できなかった英語科の熊谷先生は何度も何度も教材に修正を繰り返し、授業も何度もリハーサルを行い、非常に完成度の高い授業、教材を提供してくれました。また、今福教室の生徒達からこの合宿への意欲を一番感じました。この合宿にける岸田先生の強い思いが生徒らにも伝わっていたように感じます。

夏期講習が終わって、進研Vもし、実力テストがすでに行われていますが、合宿、夏期講習の効果もあってか9月を幸先のいい形に入れてい

きます。

本年も公立受験者を対象に冬期合宿を行います。昨年を超える熱い年末にしたいと思って、企画中です! 乞うご期待!

予告!冬期合宿 12/28～30

- ① 志望校別公立高校合格判定試験 高校別に合格発表を行います!
- ② 自己申告書を徹底添削します!目指せ逆転合格!
- ③ 公立入試対策の特訓授業と演習特訓を準備!!

担当(予定)

